

# 北海道 教区時報



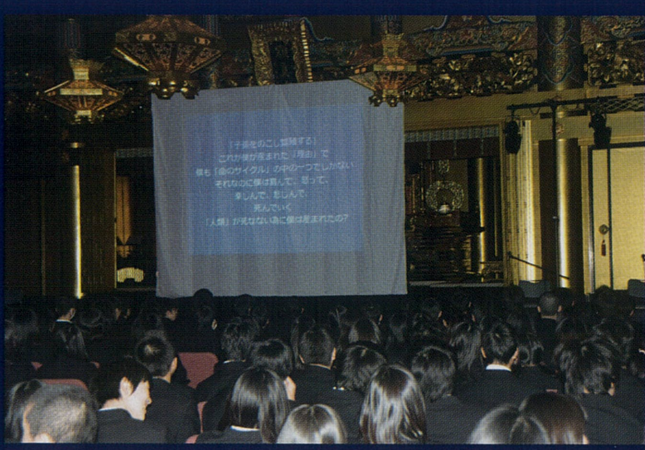
いのちの終わりを見つめ合う  
医療者と仏教者の対話

第232号

発行所  
札幌市中央区北3条西19丁目  
(郵便番号 060-0003)  
北海道教区教務所  
電話 011-611-9623  
編集 北海道教区教務所  
発行人 黒田 正 宣



合唱団響流さつぽろ  
創立20周年記念演奏会



実践運動 社会部会主催  
「いのちの授業」

第21回全国仏教壮年福岡大会



「いのちの授業」実践運動 社会部会主催  
第21回全国仏教壮年福岡大会  
北海道教区教務所 電話 011-611-9623



# 【公開講座】 いのちの終わりを見詰め合うく医療者と仏教者の対話く開催報告

去る10月18日に「御同朋の社会をめざす運動」北海道教区委員会社会部会主催により、『いのちの終わりを見詰め合うく医療者と仏教者の対話く』標記シンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、「終末期医療における医療者と宗教者の協働」を研究テーマとしている龍谷大学特任教授の早島理氏から提案をいただき、社会部会と早島研究室との共催の形で開かれました。

当日は13時から開会式が執り行われ、勤行として三歸依を誦誦した後、実践運動社会部会の亀井義昭部長より開催に際しての挨拶がありました。

挨拶の中で亀井氏は、「浄土真宗本願寺派は、自他共に心豊かに生きる世界を目指した活動を行っています。そんな中で、社会部として『いのち』についての公開講座を開催しようという運びとなり、早島先生のゼミと協力することになりました。一般には、生きている間にはお医者さん、死んだらお坊さんと思われていますが、



両者が枠を広げて『いのち』の終わりに対話することで、ともに心豊かに生きるこのことができる会の実現に向けたヒントとなるのではないかと思います。短い時間ですが有意義なシンポジウムにしたいと思います」と挨拶をいただきました。

シンポジウムは3部構成となっており、まず基調講演Ⅰとして、「医療と仏教が臨床で出会うく臨床僧侶の立場からく」という講題のもと、長倉伯博氏にお話をいただきました。

長倉氏は鹿児島緩和ケアネットワーク世話人として、長らく終末期医療の現場で患者と向き合ってきた。講演では、一般的に生きるための医療、死んでからの仏教だと思われる両者の関係についてお話をいただきました。

次に基調講演Ⅱとして、ホスピスケアの先駆者である北海道医療大学大学院看護福祉学研究所客員教授の石垣靖子氏に「スピリチュアルケア」と題し講演いただきました。

長年看護師として終末期医療の現場で携わってきた経験をもとに、患者さんとの関係や、その家族とどのように向き合うのか講演いただきました。

基調講演終了後、長倉氏、石垣氏の他、北海道ビハラの会代表・弘宣寺住職の八村弘英氏、西九州大学教授である横尾美智代氏の4人をパネリスト、早島氏をコーディネーターに迎え、パネルディスカッションを行いました。

基調講演を受け、まず八村氏が宗門・教区のビハラ活動を紹介

し、仏教の立場から『いのち』について語られました。

ネパールで公衆衛生に携わる横尾氏は、途上国の医療の現状を説明し、日本と対比する中で、私たちが学ぶべきことについて問いかけられました。

その後、長倉氏、石垣氏を交えてディスカッション、会場との質疑応答、早島氏のまとめの後、閉会式を執り行い全日程が終了しました。

社会部会では、今後も一般社会への発信や様々な活動を行っていく予定です。



終末期医療の経験を熱く語られる石垣先生



## 第1回得度習礼講習会開催

去る、12月9日(火)～10日(水)北海道教区第1回得度習礼講習会を教化センター札幌別院にて開催いたしました。

初めての教区主催の講習会で受講者は1名でしたが、「僧侶の心得」「勤式作法」「実践運動について」と受講いただきました。

この講習会では、衣体着用の上、講義を行います。衣体の畳み方はもちろん、基本姿勢や正信偈など得度の前に身につけておくべき事を学習します。

受講者からは「事前に学ぶことで自信を深められたとともに、課題も見つけることが出来て勉強になりました。」との声をいただきました。

今年度は3月12日(木)～13日(金)に第2回の講習会を行います。来年度以降得度を希望されている方は早めに受講下さいませようお願い申し上げます。

2015(平成27)年度より、『得度式規程』第11条2項に基づき、得度習礼を受ける方は、事前に得度習礼講習会を必ず受講しなければなりません。

## 合唱団響流さつぽろ創立20周年記念演奏会開催

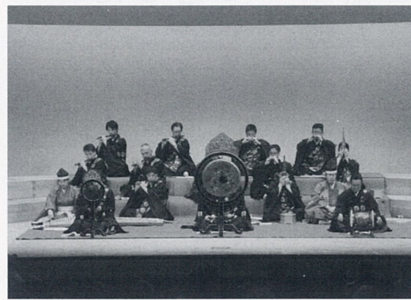
去る、11月24日(月)札幌市教育文化会館に於いて、本願寺札幌別院合唱団響流さつぽろ創立20周年記念演奏会を開催しました。

寒空のもと、時折小雨の降る生憎の天気にもかかわらず、300人超の方にお越しいただき、仏教聖歌・仏教讃歌を中心とした合唱を披露させていただきました。

約30人の団員も平均年齢は80歳の集まり、20周年を迎えるに当たって企画会議を始めた時には「別院のご命日法要で1、2曲歌わせてもらえればそれで良い」という消極的な意見もありましたが、それぞれの思いを聞いてゆけば、「日頃の練習の成果を披露したい」「仏教聖歌・讃歌の素晴らしさを一人でも多くの人に聞いて欲しい」との強い思いが挙つてきました。しかし、体力的に1時間半を超える演奏会をこな

すのは無理だと新たな問題が挙りました。そこで、10周年の記念演奏会の際に賛助出演いただいた札幌組雅友会の方に、今回も雅楽演奏を披露していただけないか、また札幌組内寺院の合唱団に協力いただいて、合同での演奏を行いたい旨を依頼申し上げたところ、雅友会そして安楽寺合唱団シャンティ様に快いお返事をいただき、共に演奏会を行える事となりました。

開催が決まってからは、週に1回の練習にも熱が入り、夏からは週に2回、直前には3回と練習量も増え、演奏後には「とても若々しい素晴らしい声だった」とのお褒めの言葉もいただきました。また、少しでも仏教聖歌・讃歌の世界を知って欲しいと、プログラムに歌詞カードを付けたところ、「優しい音楽と、素晴らしい歌詞に涙が出



た」「仏教の中にこのような、歌や音楽があることを知れてよかったです」との声も頂戴できて、演奏会開催の目的を少しは達成できたかなと喜んでいきます。

大変遠方より雅楽出演に駆けつけて下さったお寺様、お忙しい中何度も練習に足を運んで下さった、安楽寺合唱団シャンティの皆様、様々にご支援下さった多くの皆様のお陰で、満員の会場の中で演奏をさせていただいた事、この場を借りて御礼申し上げます。心より感謝しております。

今後も、仏教聖歌・讃歌を歌う事を通して、仏様の教えに出遇えた事を喜び、お寺に集まる事を榮しめる仲間が増えていくよう、一生懸命練習してまいります。

【合唱団響流さつぽろ寄稿】

ご本山では春の法要・秋の法要に合わせて御堂演奏会を開催しています。

実践運動教区委員会においても御堂演奏会のような形で仏教聖歌・讃歌を歌い、広めていく機会を今後検討していきたいと考えております。



## 「いのちの授業」開催報告について

去る、12月19日(金)、教化センター札幌別院本堂を会場に、「いのちの授業」が御同朋の社会をめぐり運動北海道教区委員会社会部会が主催し開催されました。

この「いのちの授業」は、社会部会の長期計画の中で「社会的要請に応える事業の展開」と定め、「浄土真宗の教えに立ち、道内宗門校と連携を取り、多感な時期にある学生に対して、寺院・僧侶・仏教に触れてもらうご縁づくりを実践する」ことを一つの柱とし、教化センター札幌別院に隣接する札幌龍谷学園高校の協力を得て計画をいたしました。

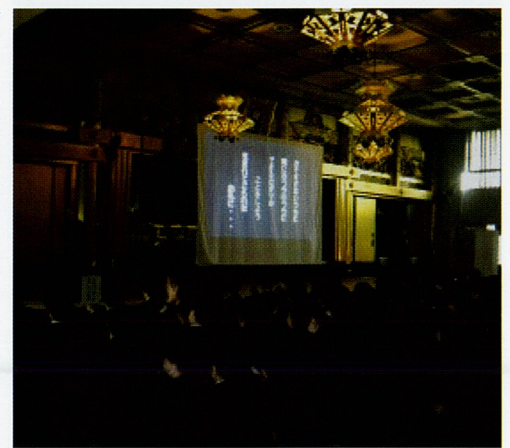


札幌龍谷学園高校においても、宗教の授業で「いのち」についての学習を行っています。『いのちの大切さ』について改めて育んでいただくために』と協力をしてくださいました。

今回は、朗読塾「チームいちばん星」による詩と朗読を組み合わせたプログラム「豊かに生きる」を上演し、宗門校に入学した新入生を対象に「いただきます」の意味や「生かされている」事について考えるきっかけを持ってもらうことを目的といたしました。

まず、導入部分は亀井部長がパワーポイントで作成した映像と、教務所職員が補足説明をするプレゼン形式で行い、「御同朋の社会とは何か」「いのちとは一体何なのか?」といったことの説明、問いかけを行いました。

初開催である社会部員はもちろん、朗読を行う「チームいちばん星」としても、朗読劇開始前に導入が入ることは初めてのことであり、慣れない場所での授業における学生の反応が心配でありましたが、問題提起の中にも笑いもあり、非常に良い雰囲気での朗読劇につな



ぐことが出来ました。

導入部分終了後、「チームいちばん星」による朗読劇がスタートし、まず、様々ないのちや生きる事について詩の朗読を行い、学生達は涙を流して聞き入っていました。

その後、食肉加工場で働く坂本さんの実体験を基にした絵本「いのちをいただく」を上演し、生かされているいのちについて朗読劇と法話を通して、学生達一人ひとりに考えていただく良い機会となりました。

上演終了後には、各クラスに戻り、社会部会にて用意したアンケートに回答いただき、いのちの授業を終了しました。

今回、初めて札幌龍谷学園高校の協力をいただき、「いのちの授

業」を開催いたしました。が、学生達のアンケート回答には「退屈な授業と思って本堂に入ったが、導入や詩の朗読、また演じる方々のきれいな歌声や感情表現にいつの間にか見入ってしまった、涙を流していました」「普段の生活の中で感じる事が出来なかったことを感じさせてもらいました」「食事をする際に、いのちをいただいている」という感覚を持っていたり、かたので考えさせられた」など、こちらの意図をしつかりと受け取ってくれた授業を開催出来たと感じました。

また、アンケートには「身近なところでも「いのち」の別れや誕生について経験があるか?その際にどのような感じたか?」や『いのち』に関する報道で気になったものがあるか?』についても回答いただき、学生の年代が「いのち」についてどのような思いや、関心があるかについても聞き出すことが出来、今後につながる多くの意見をいただくことが出来ました。

今後、社会部では札幌龍谷学園高校と協力し、出前授業等を行い、学生達に仏教について、また寺院や僧侶が身近な存在であるということを感じてもらえるように、様々な企画を行っていく予定です。



## 第21回全国仏教壮年 福岡大会開催

先般、10月25日(土)に福岡国際会議場にて、「第21回全国仏教壮年福岡大会」がご門主様ご臨席のもと、開催されました。

全国より、約2,800名の各寺院仏教壮年が集い、北海道からも27名が参加いたしました。大会の前日には、北海道教区参加者による「北海道教区の集い」を開催し、大会への思いを語り合い、親睦を深めました。

大会開会式では、各教区の仏教壮年会連盟旗を掲揚いたしました。北海道教区は、宮崎理事長が旗手となり、仏前に連盟旗を掲揚いたしました。

開会式終了後、仏教壮年会活動の取り組み事例発表を上川南組天寧寺「真徳会」代表杉本久美さんより行い、充実した北海道教区仏教壮年会活動を全国に発信いたしました。

記念行事として、福岡市の宗門校「筑紫女学園高等学校宗教部」による雅楽演奏、そして、福岡教区の僧侶を中心とした雅楽会「和雅音」による舞楽「春庭花」の披露があり、大会を華やかに彩りました。



続いて、記念法話として、佐々木高彰本願寺派布教使より布教がありました。布教において、節談があり、参加者は布教の原点を感じさせていただきました。

開会式では、次期開催教区の東北教区より、第22回の大会に向けての抱負が語られ、参加者は次の大会での再会を約束して、解散いたしました。

## 宗谷組移動教務所実施

先般、10月29日(水)、宗谷組明源寺(利尻町・清水秋声住職)にて、「移動教務所」を実施いたしました。

移動教務所は、教務所長、実践

運動寺院活動支援部長、担当職員が組に Outreach し、寺院活動の現状や課題の聴き取りを行います。組によって現状や課題の相違があり、教区がその把握をし、組や寺院に対して適切な寺院振興支援策を行うっていく事業です。

利尻島は、現在3ヶ寺の寺院が所在しており、その内2ヶ寺は住職不在寺院です。1ヶ寺は僧侶が法務をされておりますが、1ヶ寺は僧侶も無く、全く教化・伝道活動がされていない状況でありました。

参加者の僧侶から、過疎によって経済的に困窮しており、寺院運営について困難であるが、教区に経済的支援よりも、寺院での教化活動が充実するよう、支援いただきたいとの要望がありました。特に、利尻島での報恩講については、出勤僧侶が2名と少数で勤めており、もっと盛大にお勤めしたいとの要望があった為、教区としての法要支援を検討いたします。

今後、より多くの組に「移動教務所」を実施していただき、教区として各組の活動状況や課題をお聞かせいただきたいと思いますので、宜しく申し上げます。

## 第2回法式研修会開催

去る、12月1日(月)に教化センター札幌別院にて今年度第2回目となる法式研修会が参加者22名で開催されました。

今回は、4つにクラスを分け、その後全員で内陣作法、執持法を行いました。出席者の半数近くが正信偈・葬場勤行を選ぶなど、あらためて基本的なことを学びたい方が多かったようです。

クラス別の講義は少人数で行われ、緊張感があり自分の間違いなどにも気づきやすく、質問なども多く出たようです。

全員での執持法は、ご本山より式務部課長の土岐会役者が講師となり、参加者を三組に分け実際に内陣での動きを見ながら確認を行いました。参加者は久しぶりの作法の講義であるということや、他の人の作法をじっくり見ることが中々ないために、真剣なまなざしで講義を聞いていました。



▼北海道誌

【報告】

- 10月6日 離島布教(～8日 利尻島)
- 7日 実践運動 第3回寺院活動支援部会
- 10日 北海道教区若婦人研修会
- 17日 実践運動 第1回部長会議
- 18日 医療者と仏教者の協働シンポジウム
- 22日 Bブロック総代研修会(～23日 羽幌)
- 24日 全国仏教壮年大会(～25日 福岡)
- 28日 実践運動 第4回常任委員会
- 29日 第1回移動教務所(宗谷)
- 31日 北海道教区布教大会(釧路)
- 11月4日 キッズサンガ中央連絡協議会(～5日 本山)
- 7日 寺院振興連絡協議会(本山)
- 9日 被災地落語会(～12日 仙台)
- 15日 北のBONDS(絆) VOL.4 (札幌市)
- 18日 北海道教区若婦人研修会
- 25日 第2回寺院振興対策委員会/宗教法人税務研修会
- 27日 謝心会 讃仰の集い(～28日 定山溪)
- 28日 連研のための研究会準備会
- 29日 ほよ～ん相談会(～30日 仙台)
- 12月1日 第3回勤式運営委員会/第2回法式研修会
- 3日 第3回布教団役員会/第2回布教使研修会
- 4日 全国保育大会 第3回研修部会/真宗教団連合拡大委員会
- 5日 札幌刑務所扇ヶ池懇話会
- 8日 実践運動 第4回寺院活動支援部会
- 9日 第1回得度習礼講習会(～10日)/龍谷総合学園総会(本山)
- 11日 第4回キッズサンガアドバイザー会議/矯正管区理事会
- 12日 第5回重点プロジェクト実行部会/保養事前説明会
- 全国保育大会 第3回総務部会
- 13日 第1連区寺院仏教結成に向けた研修会
- 第1連区仏教研修会(～14日 仙台)
- 14日 第1連区仏教連絡協議会
- 15日 僧侶研修部会 布教部門会議
- 16日 実践運動 中央常任委員会(本山)
- 17日 真宗教団連合中央研修会(～18日 築地)
- 19日 Cブロック僧侶研修会パイロット版(北見)
- 実践運動社会部会「いのちの授業」(札幌龍谷高校)
- 23日 冬期保養事業(～29日)
- 24日 実践運動 第5回常任委員会
- 29日 教務所冬期休暇(～1月6日迄)

- 1月7日 事務開始日
- 13日 全国保育大会全体会
- 20日 実践運動 中央常任委員会(本山)
- 21日 実践運動 中央委員会(本山)
- 21日 少年連盟第2回理事会
- 22日 第6回重点プロジェクト実行部会
- 27日 組長会
- 28日 布教団団長副団長会議/僧侶研修部会 法式部門会議
- 29日 実践運動 第6回常任委員会
- 30日 仏教婦人会連盟 第3回常任委員会

【予定】

- 2月2日 Cブロック僧侶研修会パイロット版(札幌)
- 3日 実践運動第3回僧侶研修部会
- 4日 実践運動第4回寺院活動支援部会
- 6日 仏教婦人会総連盟評議委員会(本山)
- 9日 第1連区青年布教使研修会(～10日)
- 14日 ビハーク全国集会(～16日 本山)
- 15日 連研のための研究会(秩父別)
- 17日 第1連区職員研修会(～18日 札幌)
- 18日 仏教青年連盟推進者研修会(～19日 本山)
- 20日 第2回常例協議会
- 21日 全道仏壯大会(～22日 札幌)
- 23日 第2回キッズサンガサポーター協議会
- 僧侶研修部会 教学部門会議/僧侶研修部会 布教部門会議
- 25日 矯正管区理事会
- 27日 実践運動 第7回常任委員会
- 3月3日 温泉説法の集い(～4日 登別)
- 6日 第2回常備会
- 9日 宗教者懇談会
- 12日 第2回得度習礼講習会
- 25日 定期教区会
- 26日 第40回少年リーダー研修会(～27日)
- 27日 実践運動 第8回常任委員会
- 28日 仏教章のための学習会・研修会(～30日)
- 4月13日 真宗教団連合拡大委員会
- 5月22日 真宗教団連合第43回研修会
- 27日 世界仏教婦人大会(～6月4日 カナダ)
- 6月24日 浄土真宗青年僧侶協議会フットサル大会
- 7月6日 Aブロック総代研修会(胆振組担当)
- 10月29日 Bブロック総代研修会(宗谷)

※予定は変更となる場合がありますのでご了承下さい

北海道教区常例布教日程(予定)

札幌別院	別院	北見西	北見東	釧路根	十勝II	十勝I	日高	胆振	上川北	上川南3	上川南2	上川南1	空知北	空知南	後志	函館	札幌II	札幌I
(北豊教区・京仲組・正山寺)	(熊本教区・託麻組・良覚寺)	(山口教区・岩国組・教法寺)	(兵庫教区・出石組・乗専寺)	(兵庫教区・網干・善一郎)	(兵庫教区・高砂組・善行寺)	(北豊教区・京仲組・正山寺)	(山陰教区・益田組・善正寺)	(山陰教区・齋藤・友法)	(東京教区・北組・慈光寺)	(山口教区・玖珂西組・月空寺)	(山口教区・美和組・超専寺)	(北豊教区・京仲組・両徳寺)	(北豊教区・舟川・智也)	(北海道教区・函館組・誓願寺)	(山陰教区・千須賀組・永照寺)	(大阪教区・天野北組・明教寺)	(山陰教区・不死川・昌史)	(山陰教区・集田・真行寺)
(熊本教区・稲垣・浄賢)	(長崎教区・島原南組・浄源寺)	(北海道教区・留萌組・善勝寺)	(北海道教区・根室組・正光寺)	(四州教区・今治組・称名寺)	(東京教区・群馬組・蓮照寺)	(北海道教区・空知南組・善行寺)	(北豊教区・築城組・浄徳寺)	(山陰教区・三陽組・妙蓮寺)	(山陰教区・小原・静也)	(北海道教区・空知南組・誓報寺)	(兵庫教区・多加組・西教寺)	(北海道教区・上川南組・専証寺)	(北海道教区・打本・厚史)	(安芸教区・豊田東組・西念等(9日・16日))	(北海道教区・空知北組・竜泉寺)	(北海道教区・後志組・無量寿寺)	(北海道教区・朝山・明彦)	(北海道教区・空知北組・圓覺寺)
(北海道教区・十勝組・誓願寺)	(兵庫教区・阪神西組・信行寺)	(備後教区・沼隈南組・西光寺)	(北海道教区・空知北組・円満寺)	(北海道教区・八村・弘隆)	未定	未定	(北海道教区・空知北組・竜泉寺)	(北海道教区・後志組・明善寺)	未定	未定	(兵庫教区・宮里・俊哲)	(安芸教区・山県太田組・安養寺)	(北海道教区・空知北組・法忍寺)	(山陰教区・三陽組・妙蓮寺)	(北海道教区・十勝組・妙法寺)	(京都教区・下西組・正住寺)	(苗村・隆之)	未定

※変更になる場合がございますのでご了承下さいませ。

敬称略